

きたまち

地域に根ざしたまちづくりに求められる「4つの分野」

1 組織化

地域に根ざしたまちづくりを進めるため、ビジョンを共有し行動力を伴う協力関係をまちなかに構築することです。行政、住民、事業者や各種関係団体等が連絡調整会議等を設置し、優れた人材の活用と育成、活動の定着化、資金調達の安定化を図ります。



2 デザイン

まちなみ景観、建築ファサードや屋外広告物、道路附帯設備等、地域内の物理環境を、まちのイメージに配慮し整えることです。一斉に整えるのは難しいので、まちのイメージを共有し段階的に実現するため、デザイン計画を作成してまちを更新します。



3 プロモーション

地区ならではの特徴を、素街や商業者に加えて起業家や投資家等にもアピールすることです。販売促進活動や独自イベントや情報発信等、多様なプログラムやツールを通して、地域らしさを戦略的に活かします。まちづくり資金の獲得にもつながります。



4 経済再生

経済基盤を再活性するため、地域の産業や地域らしさを活かす取り組み等と連携しながら、経済活動を多様化し強化することです。既存ビジネスの拡張や新規ビジネスの導入に加え、それぞれの効果を調査検証し、改善しながら戦略的に再活性化を図ります。



わたしたちは北海道の暮らしたいまち
オンリーワンづくりを目指します

一般社団法人 北海道まちづくり協議会
2019年度 活動報告書

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2019年度活動報告書 (2019.4.1～2020.3.31)

ごあいさつ | 01

主な年間活動 | 02

- 主な年間活動 | 02
- 平成30年度第1回通常総会 | 04

まちづくり支援事業（実践活動研究会） | 05

- 1号研究会 ●マンション建替え支援研究会 | 05
 - 地域マネジメント研究会 | 05
 - 再開発マニュアル研究会 | 06
- 2号研究会 ●小樽駅前地区整備支援研究会 | 07
 - 駅前周辺まちづくり支援研究会 | 08
 - 地下鉄駅周辺再開発支援研究会 | 08
 - 地下連絡通路利活用検討研究会 | 09
 - JR 琴似駅周辺地区まちづくり支援研究会 | 10

交流研修事業 | 11

- まちづくり研修会～人口減少下での住宅施策とまちづくり～ | 11
- 第1回会員交流研修会～民法改正と建設・不動産実務への影響 | 14
- 第2回会員交流研修会～西2丁目線 地下自転車等駐車場整備工事 見学会 | 15
- 第3回会員交流研修会～遠軽町視察バスツアー | 16
- 令和2年新年交礼会 | 17

情報広報関連事業 | 18

- 北まちブログ連載企画 THE 座談会 in 東川町 | 18

組織・役員 | 19

- 組織図、役員、事業部会長 | 19

会員一覧 | 20

- 法人正会員、個人正会員（税理士等・個人事業主） | 20
- 個人正会員（一般）、賛助会員、特別会員 | 21

●ご覧になりたい項目をクリックするとページに移動します



一般社団法人 北海道まちづくり協議会
会長 能戸 裕之

「地方都市のまちづくりの課題を探る」

日頃より、会員の皆様には当協議会の活動に沢山のご支援ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、昨年度までは、北海道の地方都市における人口減少問題に焦点をあて、「空き家対策」や「まちの中心のあるべき姿を考える」を活動テーマに据え活動してきました。

これまでの取り組みを通じて、地方都市では人口減少や少子高齢化を原因とする様々な問題がありますが、各まちの状況に応じて課題が異なっており、まちごとにきめ細かな対応策が必要になってきました。こうした状況を踏まえ、今年度は、『地方都市のまちづくりの課題を探る』を活動テーマに掲げ、現在における地方都市の課題を明らかにし、今後の当協議会の取り組みに活用していくこととしました。

また、新体制に移行後、当協議会の運営についても問題点や課題も見えてきました。このことを踏まえて改善すべく検討をしながらの1年となりましたが、この報告書は2019年度の一年間の活動をまとめたものでございます。ご一読いただき、今後とも当協議会の活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、次年度以降の新たな事業展開に向けて役員・部会長ともども、一丸となって協議会の目的であります「北海道の暮らしたいまち～オンリーワンづくり」に貢献する活動を今まで以上に組み込んで参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

組織運営			
総 会	第1回 通常総会	5月27日	会場：かでの2.7
理 事 会	第1回 理 事 会	5月14日	会場：緑苑ビル201号室
	第2回 理 事 会	10月23日	会場：緑苑ビル201号室
	第3回 理 事 会	2020年3月25日	会場：緑苑ビル201号室
理事会の 電磁的決議 (定款第34条第 2項に基づく)	決 定 日 (1)	5月8日	入会承認
	決 定 日 (2)	5月8日	入会承認
	決 定 日 (3)	7月27日	入会承認
	決 定 日 (4)	8月7日	入会承認
	決 定 日 (5)	8月28日	入会承認
	決 定 日 (6)	9月25日	入会承認
	決 定 日 (7)	11月16日	入会承認
	決 定 日 (8)	2020年2月26日	入会承認
	決 定 日 (9)	2020年3月11日	八軒一条西地区受託に伴う作業委託、業務責任者委嘱
	決 定 日 (10)	2020年3月30日	入会承認
業 務 執 行 理 事 会	第 1 回	5月8日	会場：協議会事務所
	第 2 回	10月15日	会場：協議会事務所
	第 3 回	2020年3月13日	会場：北3東11再開発組合事務所
常務理事会	第 1 回	4月22日	会場：協議会事務所
	第 2 回	10月10日	会場：協議会事務所
	第 3 回	2月22日	会場：協議会事務所
専 門 部 会 連 絡 会 議	第 1 回	5月17日	会場：協議会事務所
	第 2 回	1月17日	会場：ソフトスケープ

他団体会議への出席		
北海道建築設計会議	7回出席/10回開催	会場：緑苑ビル201号室

講師派遣事業		
(1) 北海学園大学工学部建築学科 講義名称：都市計画 テーマ：現行制度とその特性2/都市再開発事業と建築（講師：常務理事武井秀爾）		11月11日
(2) 藤女子大学人間生活学科 講義名称：まちづくり論 テーマ：まちを再生する／都市再開発事業の仕組みと特徴（講師：常務理事武井秀爾）		12月6日

受託事業	
八軒一条西2・3丁目周辺地区基本構想 Part1 作成業務	【委託者】八軒一条西2・3丁目周辺地区まちづくり準備組合

相談事業		
(1) 恵庭市～都市の課題、北まちに求めることをヒアリング	6月5日	参加者：7名
(2) 登別市～都市の課題、北まちに求めることをヒアリング	10月9日	参加者：8名
(3) 小樽市～都市計画決定までに作成する計画等の流れについて、市街地総合再生基本計画及び市街地総合再生計画について	10月10日	参加者：6名

その他事業		
学生支援	学生支援北海学園大学工学部の学生を対象とし、講師4名の仕事についての講演及び学生とのフリーディスカッション「技術者車座トーク」を実施	6月10日

環境取組事業	
「さばーとほっと基金・環境取組事業対象(札幌市)」に、当協議会の年間受託事業費の約1%の寄付を実施	

主な年間活動 (部会・研究会)

まちづくり支援事業 担当常務理事：高森篤志 担当部会長：中山祐二

まちづくり支援事業部会開催状況

まちづくり支援事業部会	今年度活動の内容と進め方
	今年度活動の総括と次年度の活動内容

実践活動研究会

研究会名	活動内容
マンション建替え支援研究会(一号)	研究会ミーティング：開催なし
地域マネジメント研究会(一号)	研究会ミーティング：3回
再開発マニュアル研究会(一号)	研究会ミーティング：7回
小樽駅前地区整備支援研究会(二号)	研究会ミーティング及びコア会議他：9回
駅周辺まちづくり支援研究会(二号)	意見交換会：2回
地下鉄駅周辺再開発支援研究会(二号)	研究会ミーティング：開催なし
JR 琴似駅周辺地区まちづくり支援研究会(二号)	研究会ミーティング他：7回
地下連絡通路活用検討研究会(二号)	研究会ミーティング：開催なし

交流研修事業 担当常務理事：高森篤志 担当部会長：内山靖久

交流研修事業部会開催状況

交流研修部会 会議	今年度事業企画
	まち研実施打合せ：18回、交流事業実施打合せ：3回
	今年度活動総括及び次年度活動構想

事業実施状況

事業名		開催日	会場	参加者数
学生車座トーク		6月10日	北海学園大学	11名
一般社団法人再開発コーディネーター協会との意見交換会		7月5日	緑苑ビル201会議室	24名
第1回会員情報交流会	勉強会(セミナー)	7月9日	緑苑ビル201会議室	25名
第2回会員情報交流会	西2丁目線 地下駐輪場 見学会	11月8日	現 地	22名
第3回会員情報交流会	遠軽町バスツアー	10月11日～12日	遠軽町現地	13名
令和元年度まちづくり研修会		11月13日	北海道経済センタービル 8F・Bホール	102名

情報広報関連事業 担当常務理事：高森篤志 担当部会長：押野和也

事業実施状況

事業名	内 容
ホームページ、メール配信、各種広報物による情報広報活動	ホームページ：活動ブログの随時更新 メールインフォメーション：会員に向けた情報発信
第4回「北まち座談会」を開催	ホームページ掲載
2018年度年間活動報告書作成	ホームページ掲載
協議会ホームページ全面改定	2020年5月公開

情報広報関連事業部会開催状況

情報広報関連部会 会議	今年度活動の企画と進め方
	北まち座談会の企画・実施：3回、メール会議：随時

2019(令和元年)年度通常総会 2019年5月27日 会場: かでる2.7 710研修室

令和2019年5月27日(月)17時30分より、かでる2.7において、「2019年度通常総会」を開催しました。出席者57名、うち委任状出席17名の方にご出席いただきました。

総会は、第1号議案「第1号議案平成30年度事業報告及び収支決算承認の件」について審議され、承認が得られました。

総会終了後は中村屋旅館に会場を移し、34名の出席者により、新しく会員になられた方々も交え、懇親会が開催され、和気あいの雰囲気の中で会員の交流が深められました。

マンション建替え支援研究会(一号研究会)

概要

活動内容	近い将来、大きな社会問題になると予想されている「マンション建替え」について、(一社)再開発コーディネーター協会のマンション建替え専門グループと一緒に、技術向上のための事例研究や情報収集を行い、マンション建替えの推進普及に努めるとともに、支援を希望する管理組合に建替えプログラムの現地指導やマンション建替え実施のコンサルティング参加も視野に入れた活動をする。
代表	武井秀爾
メンバー(19名)	内山靖久、大石章夫、岡本浩一、押野和也、葛西政一、菅野克、北川好和、木村健一、久新信一郎、後藤健夫、佐藤市郎、八田真勝、濱谷雅弘、深澤彰一、本間寿幸、目黒裕史、横山幹人、吉田潔
主たる活動場所	札幌市内のマンション管理組合を中心
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

活動	概要	開催日	会場	参加数
開催なし				

地域マネジメント研究会(一号研究会)

概要

活動内容	今年度の協議会の活動テーマを絡め、平成26度からの継続的な取り組みである“地域マネジメント”として、“地域の現状と課題を知る”取組と共に、“その対応に向けた検討”への、素案検討を行うことを目的とする。
代表	中山祐二
メンバー(8名)	川尻雅裕、高森篤志、武井秀爾、辻井順、寺内知生、能戸裕之、山口重則
主たる活動場所	株式会社ソフトスケープ
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	第1回ミーティング	今年度の内容と進め方について	5月10日	(株)ソフトスケープ	7
2	第2回ミーティング	過年度成果まとめと今年度の活動の総括	12月11日	(株)ソフトスケープ	7
3	第3回ミーティング	次年度活動に向けたテーマ構築	2月7日	北3東11再開発組合事務所	6

再開発マニュアル研究会(一号研究会)

概要

活動目的 内 容	会員向け、再開発検討地区団体等向けの再開発事業推進のためのマニュアル作成
代 表	能戸裕之
メンバー (14名)	石塚雅弘、押野和也、川瀬浩、川尻雅裕、久新信一郎、坂本行宏、武井秀爾、田中絢人、田中康道、寺内知生、前川公生、横山幹人、山口重則
主たる 活動場所	北3東11再開発組合事務所
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の内容について意見交換	6月13日	北3東11再開発組合事務所	7
2	第2回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の内容について意見交換	9月9日	北3東11再開発組合事務所	11
3	第3回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の内容について検討と進め方	10月7日	北3東11再開発組合事務所	10
4	第4回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の各専門(職種別)の業務等の検討	11月15日	北3東11再開発組合事務所	9
5	第5回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の計画の前提条件の検討	12月9日	北3東11再開発組合事務所	10
6	第6回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の計画の前提条件の整理	1月15日	北3東11再開発組合事務所	10
7	第6回ミーティング	マニュアルダイジェスト版2の各専門(職種別)の業務等の整理	3月2日	北3東11再開発組合事務所	7

小樽駅前地区整備支援研究会(二号研究会)

活動目的 内 容	小樽駅前再開発事業(駅前再開発)により建築された小樽駅前ビルは完成後39年を経過し、5月の耐震診断結果を待って建物更新の計画づくりが求められている。また、同じ駅前再開発により整備された駅前広場も15年後の北海道新幹線の開通に合わせた機能の見直しが必要となっている。 しかし、地元協議会が結成されているが活動が鈍いため、駅前再開発後のビル管理を担うために設立された小樽駅前ビル(株)(まちづくり会社)としては、この課題に対する議論の活発化に寄与したいという思いで、当協議会に賛助会員として入会し協力を求めてきた。 このことから、本研究会では小樽駅前ビル(株)に協力し、小樽駅前地区の将来像の検討の場づくりや小樽駅前ビルの建物更新計画の作成の支援を行う。
代 表	大石章夫
メンバー (21名)	市橋佳樹、内山靖久、生沼貴史、大友佑介、大場眞一、岡本浩一、尾作尚樹、加賀谷勉、川尻雅裕、久新信一郎、沓澤和重、後藤健夫、武井秀爾、前田康司、中山祐二、成田靖彦、能戸裕之、深澤照一、本居功光、森哲子
主たる 活動場所	小樽駅前地区
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第1回コア会議	今年度活動方針について	4月5日	小樽駅前ビル会議室	4
2	準備組合理事会	総会議案について	4月24日	小樽駅前ビル会議室	2 (北まち)
3	準備組合総会	令和元年度定期総会	5月16日	小樽駅前ビル会議室	2 (北まち)
4	第1回ミーティング	今年度活動について	6月7日	緑苑ビル201号室	18
5	第2回コア会議	今年度活動方針について	7月11日	あいよ	7
6	第2回ミーティング	今年度活動方針について	7月23日	小樽駅前ビル会議室	13
7	第3回コア会議	今年度活動方針の見直しについて	9月23日	ミチノイエ	6
8	第4回コア会議	地元動向と調査報告の内容確認	12月12日	小樽駅前ビル会議室	8
9	第3回ミーティング	来年度の動きと調査資料の報告	2月28日	小樽駅前ビル会議室	15

駅前周辺まちづくり支援研究会(二号研究会)

概要

活動目的 内 容	駅前地区の将来像の検討や周辺の土地利用構想など、駅前まちづくり議論の起点となるための勉強会や検討会の開催等について支援する。
代 表	能戸裕之
メンバー(6名)	大場眞一、加賀谷均、内山靖久、押野和也、武井秀爾
主 たる 活動場所	苫小牧市
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	意見交換会	駅周辺の現状、動向について	4月7日	苫小牧市役所	4
2	意見交換会	駅前再開発の展開について	3月14日	苫小牧市役所	4

地下鉄駅周辺再開発支援研究会(二号研究会)

概要

活動目的 内 容	・地元権利者の意向を踏まえ、施設ボリュームや事業収支など事業の可能性検討を行う。 ・行政とは、再開発事業の内容、地区計画などの都市計画に係わる内容について協議を行う。
代 表	武井秀爾
メンバー(7名)	大石章夫、押野和也、加賀谷均、川尻雅裕、中山祐二、能戸裕之
主 たる 活動場所	札幌市内地下鉄駅周辺
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
開催なし(先方の連絡まち)					

地下連絡通路利活用検討研究会(二号研究会)

概要

活動目的 内 容	地下鉄駅の連絡通路について、利用者の利便性向上と事業者の収益獲得を目的に、空間の利活用方法や事業化に向けたスキームなどの技術を習得する。
代 表	川尻雅裕
メンバー(4名)	高森篤志、瀧田展明、岡本浩一
主 たる 活動場所	札幌市交通局が管理する地下連絡通路
活動期間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
開催なし				

JR琴似駅周辺地区まちづくり支援研究会(二号研究会)

概要

活動目的 活 内 容	JR琴似駅周辺地区では5地区6工区の連鎖型市街地再開発事業が完了し、空中歩廊で連結された約10haのコンパクトシティを形成している。周辺地区では新たなまちづくりの機運が芽生えはじめている為、事業化の支援を目的として研究会を設立する。
代 表	川瀬浩
メンバー(5名)	宮坂勝文、中山祐二、秋山広、山口重則
主 たる 活 動 場 所	JR琴似駅周辺地区
活 動 期 間	2019年4月から1年間、活動状況によって更新

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
1	第3回コア会議	八軒一条西2・3丁目周辺地区(以下、「地区」という)基本構想Part 1 対応打ち合わせ	7月26日	琴似会館	5
2	第1回勉強会 ワークショップ開催支援	地区基本構想づくり勉強会・ワークショップの運営	7月30日	八軒会館	4 (全体13)
3	参考地区視察見学会 開催支援	まちづくり準備組合主催視察見学会開催支援と参加	9月6日	北4東6周辺地区	5
4	第2回勉強会 ワークショップ開催支援	地区基本構想づくり勉強会・ワークショップの運営	11月21日	八軒会館	2 (全体16)
5	基本構想作成 ワーキング会議	基本構想取りまとめ方針と今後の進め方	1月28日	琴似会館	3
6	第3回勉強会 ワークショップ開催支援	地区基本構想づくり勉強会・ワークショップの運営	2月27日	八軒会館	2 (全体14)
7	基本構想作成 ワーキング会議	基本構想報告書作成打合せ	3月9日	ことにTV	4

まちづくり研修会

-1-

日 時	2019年11月13日(火) 13:30～16:50	会 場	北海道経済センター 8FB ホール
主 催	一般社団法人 北海道まちづくり協議会	共 催	独立行政法人 北海道立総合研究機構
参加者	104名		
テ ー マ	「人口減少下での住宅施策とまちづくり」		
基 調 講 演	「住宅施策は今後のまちづくりのエンジン」 北方建築総合研究所 松村博文副所長		
事 例 紹 介	「多様な地域の課題を踏まえた公営住宅の整備、活用について」 北海道建設部住宅局住宅課計画始動グループ 菅原誠主幹 「良質な民間住宅ストックの形成に向けて」 北海道建設部住宅局建築指導課建築企画グループ 渡邊純一主幹 「恵庭市のまちづくり・住まいづくり」 恵庭市企画振興部まちづくり拠点整備室 岡田貴裕室長 「地域活性化に向けたUR都市機構の取り組み」 UR都市機構東日本再生本部まちづくり支援部 折田茂穂部長		
ディスカッション	パネリスト 松村博文氏、菅原誠氏、渡邊純一氏、岡田貴裕氏、折田茂穂氏 コーディネーター 岡本浩一氏(北海学園大学教授)		

令和元年11月13日(火)、北海道経済センター8階にて令和元年度まちづくり研修会が総勢104名様のご参加をいただき開催されました。

今年度のまちづくり研修会はテーマを“人口減少下での住宅施策とまちづくり”と設定し、公営住宅や住宅施策をまちづくりにどう生かすかにスポットをあて、北海道立総合研究機構(道総研)と当協議会の共催で行いました。

基調講演は道総研建築研究本部 北方建築総合研究所の松村博文副所長から「住宅施策は今後のまちづくりのエンジン」と題し、長年の研究成果のストックを背景とした新たな視点の紹介を行いました。

豊富なグラフやマップを読み解き、人口減少は避けようのない事実なのだが、巷間で交わされているような類型的な見方ではなく人口減少・超高齢化は悪いことばかりではないという読み解き方、まちづくりに共通解はなく痛みをともなうオリジナルな施策が必須であること、その中には災害安全性からまちづくりを見直すことが効果的な場合もあること、50年後のふるさとづくりのためには住宅施策の戦略的な活用が重要なこと、など視覚的にも理解しやす

い基調講演となりました。

続いて施策紹介として、北海道建設部住宅局住宅課計画始動グループの菅原誠主幹から「公」の切り口で「多様な地域の課題を踏まえた公営住宅の整備、活用について」と題して公営住宅の施策の変遷と今後について、北海道建設部住宅局建築指導課建築企



画グループの渡邊純一主幹から「民」の切り口で「良質な民間住宅ストックの形成に向けて」と題して空き家対策や既存ストックの転用・活用など多様な施策について、それぞれご講演頂きました。



松村博文副所長



菅原誠主幹



渡邊純一主幹



岡田貴裕室長



折田茂穂部長

まちづくり研修会

-2-

休憩の後、施策・事例紹介として、恵庭市企画振興部まちづくり拠点整備室の岡田貴裕室長から「恵庭市のまちづくり・住まいづくり」と題してコンパクトなまちづくりに向けた区画整理事業・市街地再開発事業やガーデンデザインプロジェクト、官民複合施設「えにあす」などの概要と効果の紹介を頂きました。➤

同じく施策・事例紹介として、UR 都市機構東日本再生本部まちづくり支援部の折田茂穂部長からは「地域活性化に向けた UR 都市機構の取り組み」と題し、連鎖型都市再生プロジェクトや UR 賃貸住宅の役割の変遷、災害復興の取り組み、コンパクトシティモデル都市への取り組みなど豊富な事例の紹介を頂きました。



後半は、北海学園大学教授の岡本浩一氏をコーディネーターに、5名の講演者の方々と意見交換を行いました。

冒頭に講演者の方々の居住歴や業務経歴をそれぞれのバックボーンとしてご紹介頂き、「住み続ける」「公的住宅」「空家」をキーワードに進めて頂きました。

まちに住み続けるための拠り所として「サードプレイス」「セカンドプレイス」「2.5プレイス」という視点が皆さんから出されました。

菅原氏と渡邊氏から、道職員は転勤があり長く住み続けることはないが、短い期間で環境の価値を見出すこと、家を守る家族にもセカンドプレイスがあることの大切さを体験上の感想として頂きました。

岡田氏からは「えにあす」を事例に、サードプレイスには ①誰でも立ち寄れる雰囲気、②無料か少額であること、③新たな出会いが生まれること、の3つが必要であり、図書館なのに子供がうるさいという方もいるが「えにあす」はそういう場所なのだという観点が示され、また折田氏からは創成スクエアでは公共施設の広場をどう作るかという視点で取り組んだことが紹介されました。

松村氏からはサードプレイスの条件として ①場所があること、②運営は行政が行わないこと、③運営組織を計画段階で作ること、の視点を挙げ、昔は道

路の砂利は行政が運んできて積み下ろし、地元の人の手で均していた時代があった、人口減少下ではそういう発想もあるのではないかという意見を頂きました。

様々な話題で活発な意見交換が行われましたが、その中からいくつかの視点を書きとどめます。

- 古い公営住宅が残っているまちはチャンスがある、建て替え・移転・新しい土地利用が可能になる。
- 道営住宅は22,000戸のストックがある、集約化した時には余剰地が生まれる。
- 既存の民間賃貸住宅を活用できないか、「民間賃貸住宅に空きがあるのに、なぜ公営住宅をつくるのか」という意見も出る。
- 民間賃貸住宅にはある程度の空室率は必要ではないか、10%程度の空きがなければ健全な市場とは言わないのではないか。
- かつての移住入居はリタイヤ層が田園住宅に移ってくるものだったが、今は「おためし暮らし」のイメージではなく、子育て層が転職をして移住してくる堅実なものになってきている。市場に出てこない、潜在空き家の活用が課題。
- 子育て層のために戸建ての賃貸を市場に出すことは大切で、そこに行政の支援があってもよい。

まちづくり研修会

-3-

○ 人口減のまちでは、空き家が更地になることは悪いことなのだろうか。2宅地を1住戸で使う豊かなまちとも言えるのではないか。

○ 2100年に日本の人口は4,700万人になるだろう。明治初期ぐらいの人口なのだが市街地は圧倒的に広がり、災害危険度の高いところにも広がってしまった。インフラコストの観点だけでコンパクトシティ化するのは難しく、災害危険性が切り口になるのではないか。

終盤、講演者の方々に、当協議会に期待するものについてのご意見を頂きました。

・公的事業が行き詰った時に実務的な打開策で動かしてもらったが、そういう所を期待する。

・行政の中に技術職が少なくなってきた。若手職員の背中を押してくれることに期待する。

・行政が行うことに効果の見える化ばかりが求められているが、10年掛けて作っていくベースの部分はなかなか目に見えてこない。その提案をしてもらうことが良いのではないか。などの貴重なご意見を頂きました

最後に当協議会の高森篤志常務理事から挨拶をさせて頂きました。共同開催は初めてだったが準備段階の意見交換が有意義であったことを振り返り、また防災の観点のお話が印象深く、防災施策は都市計画と合わせて考えることではないかという問題提起とともに、本年度の研修会を締めくくりました。

レポート：交流研修事業部会長 内山靖久

第1回 会員情報交流会

民法改正と建設・不動産実務への影響 [2019年7月9日]

令和元年7月9日(火)18時30分より、緑苑ビル201号室において会員情報交換会が開催されました。

今回の講師・弁護士法人札幌英和法律事務所の田中康道弁護士から「民法改正と建設・不動産実務への影響」についてご講演頂きました。

2020年4月の民法改正は当協議会の会員にも影響がありえる改正となるため、時節を得た内容に会員25名の出席がありました。



田中弁護士は建築・不動産分野を重点取扱分野とされています。またガウディ研究家の田中裕也氏が叔父にあたり、子供の頃からガウディの話やまちづくりの話を聞いていたとのこと。真駒内のまちづくりコンペに応募されたことも有り、住宅業界新聞に連載欄を持たれるなど、協議会会員から近い距離におられる方です。

一般社団法人 北海道まちづくり協議会 令和元年 第1回会員情報交流会

民法改正と建設・不動産実務への影響

令和元年7月9日

弁護士法人札幌英和法律事務所
弁護士 田中康道

今回の民法改正の目玉として挙げられたのは「請負契約・売買契約で瑕疵担保責任が廃止され、債務不履行責任に一本化された」「債務不履行責任の特則としての位置づけで、契約不適合責任が創設された。」ことです。ほかにも目玉となる項目が挙げられていましたが、1点目が会員としては気になる所だと思いますし、田中弁護士の用意されたテキストや講義も、そこについて詳しく説明されておりました。

さらに具体的な内容はここには書ききれませんが、新しく入会された方からタイムリーな話題の早わかりを伺うことができた、貴重な時間でありました。

レポート：交流研修事業部会 菅野 克

第2回 会員情報交流会

西2丁目線 地下自転車等駐車場整備工事 見学会 [2019年8月7日]

令和1年8月7日(水)に市内中心部において建設が進められている「西2丁目線 地下自転車等駐車場整備工事」の現場見学会を、工事施工を担っている岩田地崎建設・丸彦渡辺建設・北土建設 JV 様のご協力の下、総勢21名のご参加をいただき実施されました。

本工事は、札幌中心部において工事が進められている大規模地下駐輪場工事で、札幌大通地区周辺においては路上や公園などに約10,000台の自転車が放置されていることから、この放置自転車の解消が目的とされ、また地下駐輪場の整備に伴ない、土地の有効利用、地下鉄、地下通路との利便性の向上を図るなど、札幌の中心市街地の新たなまちづくりのインフラ整備事業として注目されている事業で、現在最深部の工事を進めているところでした。



見学会は、先ず工事 JV 事務所の渡部力所長より、工事概要と見学における注意事項の説明があり、引き続き現場場内へと移動しました。



現場では、先ず地上部における既存道路の通行車両や歩行者への安全対策が念入りに練られている状況が確認できました。続いて地下の現場へ入ると、その地下構造体の深さや大きさに驚かせると同時に、土留の為の杭や壁の施工や、既存の電気や上下水道等の各地中埋設物の大規模な吊り防護状況を目の当たりして、土木工事の「ダイナミック」な面を感じることができました。また施工区内に隣接している地上ビルの地下基礎構造体への影響を避けながらの施工では細心の注意が図られていることも確認でき、市街地中心部での大規模掘削工事の「繊細」な面も併せて感じることが出来ました。



参加された皆様は、滅多に見られない施工中の大規模掘削工事を体験することができ、貴重な経験となったようでした。

見学会終了後には、本見学会にご協力をいただいた、工事 JV の方々も交えた懇親会も開催され、和気藹々の内に終了することができました。

渡部所長を始め、本見学会にご協力いただいた工事 JV の皆様には、改めて感謝申し上げますと共に、「無事故、無災害」で工事竣工を向かえることを、心よりお祈り申し上げます。

レポート：交流研修事業部会長 内山靖久

第3回 会員情報交流会

遠軽町視察バスツアー [2019年10月11・12日]

令和元年10月11日(金)・12日(土)の両日に渡り、昨年のまちづくり研修会でご講演いただいた、都市再生整備事業を活用した「(仮称)えんがる町民センター整備事業」や隣接する空き店舗活用事業及び鉄道広場整備事業、また別途整備が進んでいる遠軽 IC 道の駅などの進捗状況を参加総勢14名にて、遠軽町の担当部局の今井参事のご案内の下、現地視察しました。

都市再生整備事業における基幹事業の目玉事業である「えんがる町民センター」は、長年の懸案事項であったJR 遠軽駅前にあつて廃墟となっていた病院跡地を町が取得し整備するもので、600人収容のイベントホールその他、多目的室等が整備される予定で、2021年度の完成を目指し基礎工事が進められています。

この他の基幹事業として街路の一部拡幅や現道幅員における改築工事や、夜の飲食街におけるイルミネーション事業も施行中のほか、提案事業では空き店舗活用事業としての改修費補助なども行われていました。



事業の概要説明

また、遠軽駅は全国的にも珍しいスイッチバック駅のため全国から鉄道ファンが訪れているとのことで、現存する SL や転車台を活かした鉄道広場整備事業も基幹・提案の合わせ技で実施する予定とのことでした。

本事業において、都市再生整備事業は地域の創意工夫により補助導入を可能とする有効な事業であることを、現地視察することでより実感することができました。



都市再生整備事業の現場視察

初日の視察を終えた後に行われた懇親会では、佐々木修一遠軽町長様もご参加いただき、楽しく懇親を深めることができました。

また翌日の12日に視察した旭川・紋別自動車の遠軽 IC に隣接する「道の駅遠軽森のオホーツク」では、北海



道の駅遠軽森のオホーツク 外観

道で初となる道の駅併設のスキー場ロッジが整備され、スキー場のリニューアルオープンと IC 供用開始に合わせ急ピッチで建設が進められておりました。スキー場は夏のアクティビティを数々導入予定で、アジア No1 の斜度を誇るジップラインやツリートレッキング、サマーゲレンデなど、1年を通して楽しめる仕掛けが満載であり、機会があれば是非訪れてみたいと感じ、大変有意義な視察会となりました。

レポート：まちづくり支援事業部会長 中山祐二



旭川・紋別自動車・道の駅・スキー場

令和2年新年交礼会

[2020年2月4日] 会場：中村屋旅館

令和2年2月4日(火)中村屋旅館にて、一般社団法人北海道まちづくり協議会の令和2年 新年交礼会を開催しました。当日は、総勢63名の皆様にご参加いただき、例年以上に賑やかな会でした。



前年、2019年は元号が平成から令和にかわり、まちづくり研修会、各研究会、会員情報交流会など当協議会の活動を積極的に行ったことが参加者数にあらわれているようでした。

始めに、当協議会の能戸会長から新年のご挨拶があり、その後、当協議会の理事・岩田地崎建設(株)の岩田取締役専務執行役員の乾杯のご発声で会が始

まりました。

その後、昨年のまちづくり研修会でご協力いただいた北海道建設部住宅局長の椿谷様から挨拶をいただきました。



会の途中では、今年度新たに入会された4組の方からスピーチをいただきました。会は終始、和やかな雰囲気のまま進み、会員同士の新たな交流が生まれたのではないかと感じました。会の終盤、当協議会の相談役、北海道科学大学の濱谷教授からイベントのお知らせ(告知)があり、最後は、当協議会の副会長で北海学園大学の岡本教授の中締めで閉会となりました。



能戸会長ごあいさつ



岩田理事ご乾杯発声



椿谷氏ごあいさつ



岡本副会長中締め



新入会員4社の皆さまからごあいさつ



令和2年新年交礼会は、新型コロナウイルスが世界中に広がる前に開催されたものです。参加者の皆様もこれほど深刻な状況になるとは予想できなかったのではないかと思います。一刻も早く、平時に戻れることを祈念します。

レポート：情報広報関連事業部会長 押野和也

北まちブログ連載企画 THE 座談会 in 東川町

2019年10月24日に東川町のヨシノリコーヒーを会場に出張座談会を実施しました。

座談会の内容は、編集作業を経て、2020年5月より当協議会ホームページ「特集記事 THE 座談会」に9回に分けて掲載しました。下記よりご覧いただけます。

THE座談会

in 東川町 Higashikawa

今回は2019年10月、青空がどこまでも広がる東川町を訪れ、ゲストの一人、榎田紗世さんが夫と経営する(株)ヨシノリプランニング東川本店(ヨシノリコーヒー)をお借りして座談会を開催しました。そこはまさに田んぼのど真ん中。建物は農家の古い納屋を景観になじみかつおしゃれにリフォームされたものだそう。他二人のゲストは東川スタイル課長の菊地伸さん、北方建築総合研究所の佐々木優二さん、当協議会顧問森哲子の司会で興味深いお話が次々と繰り広げられました。



東川町 東川スタイル課長
菊地 伸氏

(株)ヨシノリプランニング
榎田 紗世氏

道総研 建築総合研究所
佐々木 優二氏

【司会】当協議会顧問
森 哲子氏

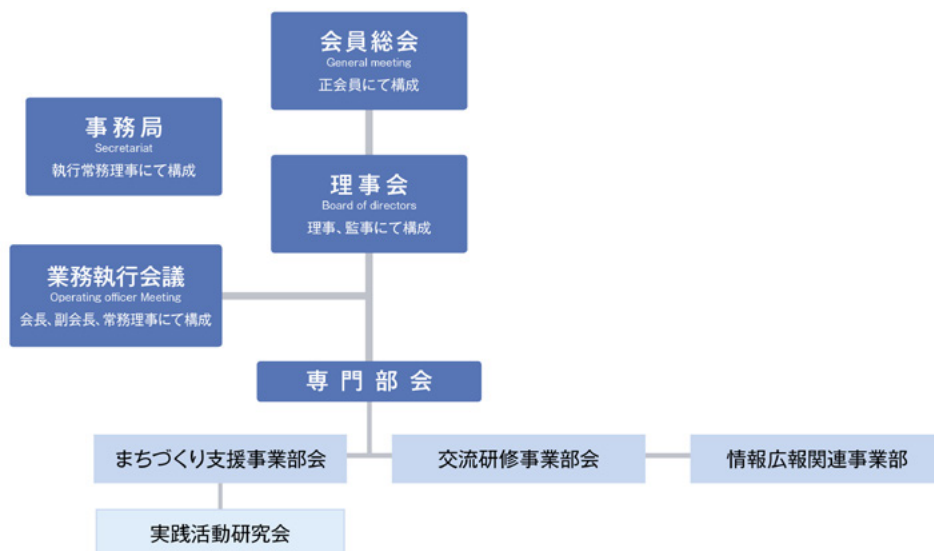
田んぼの真ん中にあるヨシノリコーヒー東川本店

-
- 2020.05.06 掲載 THE 座談会 in 東川町(第1回) ～ ゲスト紹介 ～
-
- 2020.05.21 掲載 THE 座談会 in 東川町(第2回) ～なぜ、東川町へ向かったのか～
-
- 2020.06.11 掲載 THE 座談会 in 東川町(第3回) ～東川町の暮らしづくり～
-
- 2020.06.11 掲載 THE 座談会 in 東川町(第4回) ～写真という文化によるまちおこし～
-
- 2020.06.30 掲載 THE 座談会 in 東川町(第5回) ～東川町というまちのブランドについて～
-
- 2020.07.13 掲載 THE 座談会 in 東川町(第6回) ～子育てサポートもブランド力～
-
- 2020.07.20 掲載 THE 座談会 in 東川町(第7回) ～東川町民のサポートマインド力～
-
- 2020.08.04 掲載 THE 座談会 in 東川町(第8回) ～まちのジャストサイズ～現状維持が目標～
-
- 2020.08.06 掲載 THE 座談会 in 東川町(最終回) ～東川スタイルはコミュニティから生まれる～
-

●クリックすると HP の「THE 座談会 in 東川町」にリンクします

組 織

業務執行会議及び事務局を中心に事業を推進し、会員の皆さまに事業部会や研究会活動へのご参画を募っております。



役 員

特 別 顧 問	大 石 章 夫	有限会社大石R計画 代表取締役
顧 問	森 哲 子	株式会社クオリアット 代表取締役
顧 問	大 場 眞 一	株式会社シグマ都市コンサルタント 代表取締役
相 談 役	濱 谷 雅 弘	北海道科学大学 未来デザイン学部人間社会学科 教授
相 談 役	吉 岡 宏 高	札幌国際大学 観光学部国際観光学科 教授
会 長	能 戸 裕 之	有限会社ジョブコム 代表取締役
副 会 長	岡 本 浩 一	北海学園大学工学部 建築学科 教授
常 務 理 事 (事業担当)	高 森 篤 志	株式会社ソフトスケープ 代表取締役
常 務 理 事 (事業担当)	川 瀬 浩	株式会社豊多 総合計画部 まちづくり推進室長
常 務 理 事 (総務担当/ 事務局長兼務)	山 口 重 則	YAM建築計画 主宰
常 務 理 事 (総務担当)	武 井 秀 爾	武井計画 代表
理 事	石 川 勝 利	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社 副支社長
理 事	岩 崎 秀 樹	株式会社ドーコン 取締役執行役員
理 事	岩 田 徳 夫	岩田地崎建設株式会社 取締役専務執行役員
理 事	渡 辺 淳	伊藤組土建株式会社 執行役員営業本部 副本部長
監 事	横 山 幹 人	株式会社北海道鑑定 代表取締役

事業部会長

まちづくり支援事業部会	中 山 祐 二	株式会社シン技術コンサル 技術第3部 副技師長
交 流 研 修 事 業 部 会	内 山 靖 久	岩田地崎建設株式会社 第二営業部 部長
情報広報関連事業部会	押 野 和 也	日本データサービス株式会社企画部 課長

事業内容

(1) まちづくり支援事業	各分野に関する 調査研究、支援、提言	◎地域再生、コミュニティの形成・再生
		◎まちの産業再生・活性化、まちマネジメント
		◎多様な分野との連携をいかしたまちづくり
		◎再開発やマンション建替え事業
	◎実践活動研究会 ◎受託支援事業 ◎まちづくり支援相談	
(2) 交流研修事業	◎まちづくりゼミ ◎会員情報交流会 ◎まちづくり研修会等の実施	
(3) 情報広報関連事業	◎ホームページ、メールマガジン等による情報発信・広報	
(4) 環境への取り組み	地域の環境保全に貢献することを目的に、受託事業費の1%程度を活用し、環境や自然保全などに取り組む公益的団体等に寄付、支援等を実施	

【法人正会員】

	会 員 名		会 員 名
1	株式会社アークデザイン	27	株式会社東京ソイルリサーチ札幌支店
2	株式会社アーレックス	28	東京美装北海道株式会社
3	株式会社アトリエアク	29	株式会社ドーコン
4	アルファコート株式会社	30	株式会社都市総合鑑定
5	伊藤組土建株式会社	31	株式会社トラストコンサルティング
6	岩田地崎建設株式会社	32	日本国土開発株式会社 札幌営業所
7	有限会社大石R計画	33	株式会社日本設計
8	株式会社Kiina design	34	日本データーサービス株式会社
9	株式会社クオリアット	35	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社
10	熊手フィールド株式会社	36	一般社団法人日本メインストリートセンター
11	札幌齊藤木材株式会社	37	株式会社バンテック
12	札幌通運株式会社	38	株式会社フージャースコーポレーション
13	株式会社シー・イー・サービス	39	株式会社フジタ北海道支店
14	株式会社シグマ都市コンサルタント	40	株式会社豊多
15	清水建設株式会社北海道支店	41	北海道印刷企画株式会社
16	有限会社ジョブコム	42	北海道ガス株式会社
17	株式会社シン技術コンサル	43	株式会社北海道鑑定
18	株式会社ズコーシャ	44	株式会社北海道日建設計
19	有限会社ステージ	45	街制作室株式会社
20	セコム株式会社	46	丸彦渡辺建設株式会社
21	株式会社セダー	47	株式会社宮川建設
22	セントラルリーシングシステム株式会社	48	株式会社宮坂振興社
23	株式会社ソフトスケープ	49	明和地所株式会社
24	株式会社大京北海道支店	50	株式会社山下設計 北海道支社
25	大成建設株式会社	51	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ
26	タイムズ24株式会社	52	和光技研株式会社

【個人正会員】

	会 員 名
税理士等	1 中嶋・佐藤 司法書士・行政書士事務所 中嶋 成実
	2 中村和雄税理士事務所 中村 和雄
	3 有限会社 ニシダ測量 西田 政道
	4 札幌英和法律事務所 弁護士 田中 康道
	会 員 名
個人事業主	5 YAM 建築計画 主宰 山口 重則
	6 ミチロー・キカク 主宰 小林 道郎
	7 武井計画 代表 武井 秀爾
	8 ききあう堂 主催 長野 円

【個人正会員】

一 般	会 員 名		会 員 名	
	9	一戸 勝巳	19	中野 孝志
	10	及川 哲也	20	中村 清司
	11	岡本 浩一	21	西間 敏幸
	12	葛西 政一	22	濱谷 雅弘
	13	片岡 道宣	23	深澤 照一
	14	菅野 克	24	藤山 三冬
	15	後藤 健夫	25	松井 泰友
	16	佐藤 市郎	26	吉岡 宏高
	17	堂 善之	27	吉村 廣
	18	富山 哲也		

【賛助会員】

	会 員 名
1	恵み野商店会
2	まちづくり会社小樽駅前ビル株式会社

【特別会員】

	会 員 名		会 員 名
1	岩 見 沢 市	12	苫 小 牧 市
2	恵 庭 市	13	苫 前 町
3	雄 武 町	14	二 セ コ 町
4	音 更 町	15	函 館 市
5	帯 広 市	16	登 別 市
6	倶 知 安 町	17	函 館 市
7	訓 子 府 町	18	東 川 町
8	士 幌 町	19	紋 別 市
9	せ た な 町	20	利 尻 町
10	滝 川 市	21	稚 内 市
11	千 歳 市		

2019 年度末現在の会員数								合計
法人正会員	52	個人正会員	27	賛助会員	2	特別会員	21	102



KITAMACHI

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

2019年度 活動報告書

〔発行〕

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

札幌市中央区北3条西7丁目-1緑苑ビル2階

TEL.011-232-0926FAX.011-222-5697

Email : info-ad@kitamachi.org

●お問い合わせ等はEメールでお願いします